

# 平成30年度の研究推進について

島根県小学校体育連盟 研究部

## 研究主題

### 動いて気付く できていかす しまねっ子

～主体的・協働的に取り組むことで動きを高め、運動の醍醐味を味わう体育学習～

#### 1. 研究の目的

研究動機に述べるしまねっ子の発育・発達状況並びに、その子ども達が取り組む県内の体育授業の実態から、主題にある“子ども像”に迫っていくための体育授業のあり方について追求していく。

#### 2. 研究仮説

各領域において楽しさや喜びを感じ、動きや学びを高めることによって、醍醐味を味わえるような授業づくりをすれば、目指す子どもの姿に迫っていくことができるであろう。

【醍醐味】・・・その運動の特性にふれ、動きの高まり(確かな知識)から生じる面白さ(生かそうとする意識の高まり)

#### 3. 研究内容

「各領域において楽しさや喜びを感じ、動きや学びを高め、醍醐味を味わえるような授業づくり」を実践していくために

##### (1) 期待する動きの姿の明確化

- ①体育科教育の目的・目標から、身に付けさせたい力を明確にする。
- ②その運動がもつ特性及び味わわせたい「醍醐味」について認識・整理する。

##### (2) 運動特性(技能的特性を中核とする)に触れ、動きを高める学習の工夫

- ①運動の特性に触れ、動きを高めていく学習
  - ・課題解決的学習(発見的・探究的な学習場面の設定)
  - ・共有課題が生じる場の工夫、課題のもたせ方の工夫
- ②基礎感覚・基本技能の習得をめざす学習
  - ・身に付けさせたい力につながる系統的・段階的学習(スモールステップの設定)
- ③主体的・対話的で深い学びのある学習
  - ・子どもの評価、振り返りを生かした授業の修正
  - ・子どもの達成度が図れる学習場面の工夫(ICT、学習カードなど)
  - ・学習意欲を喚起する工夫
  - ・一人一人が動きの感じを言語化し、伝え合う対話的な学び(参考:かかわり育成プラン)

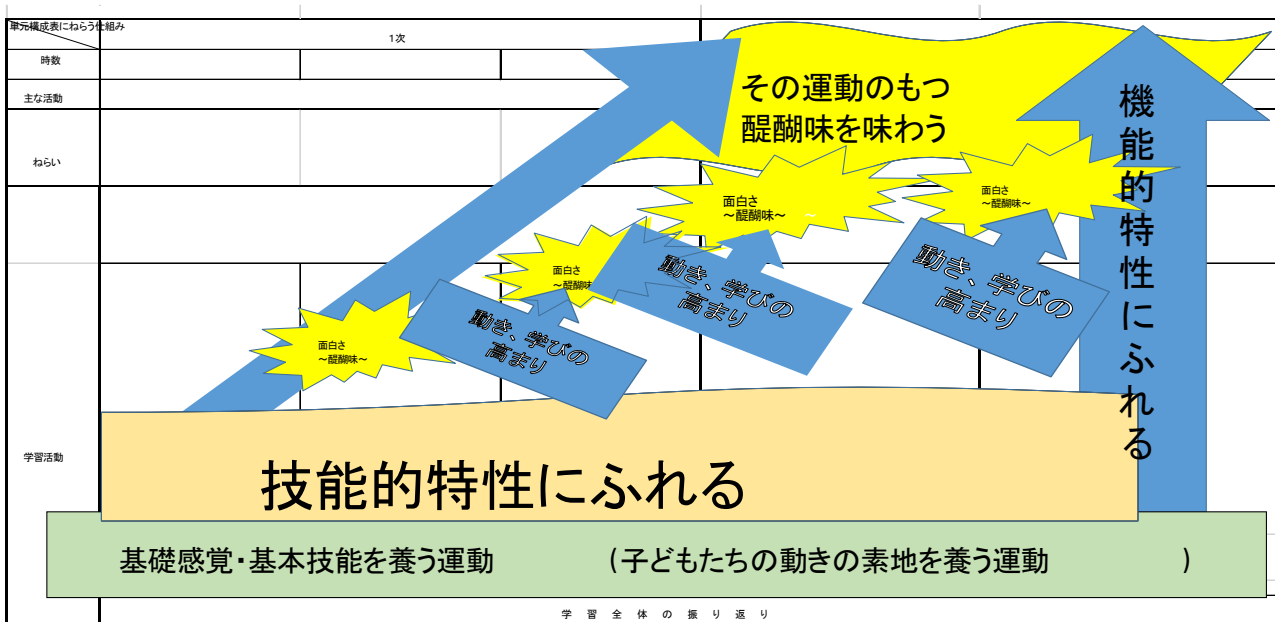
#### 4. 具体的な視点

### 期待する動きの姿を明確にし、技能的特性を中核においた体育学習の展開

#### 視点（１）特性にふれ、動きを高めていく単元構成と授業構成の追求

- 学習内容（身に付けさせたい力）や系統性を明確にした単元構成，授業構成の計画
- 醍醐味を整理した表（単元についての表）をもとにした単元構成，授業構成の工夫
  - ・「その運動の特性にふれ，動きの高まりから生じる面白さ(醍醐味)」の整理
- 基礎感覚・基本技能を養う運動の効果的な計画
- 課題を持って解決する場(思考・判断の場面)の効果的な計画

#### 【単元構成表にねらう仕組み】



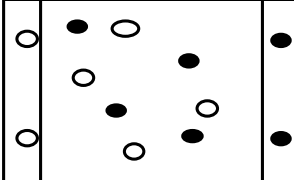
#### 視点（２）動きを高めていくための手立ての追求

- 基礎感覚・基本技能を養う運動の工夫
  - ・繰り返して行える運動
  - ・スモールステップが意識された活動（各領域・単元でめざす運動に到達しやすくする活動）
- 生活経験や体験活動を取り入れる工夫（保健学習）

#### 視点（３）動きを高める子どもの主体的・対話的で深い学びの追求

- 課題を持って解決するための学習方法や場の設定の工夫
  - ・ICT等や学習カードを活用した自己の課題を振り返る手立ての工夫
- 学習意欲を喚起する工夫
  - ・学習機会の平等性（誰もが安心して課題に取り組むことができ，課題達成ができるといった学習機会を保障した教材の工夫）
  - ・児童の実態（発達段階や興味関心）を考慮したルールや教具の工夫（誰もができた喜びや運動する楽しさを味わえる）
- かかわりを豊かにし，思考を深める言語活動の充実（参考：かかわり育成プラン）

【視点1にかかわる単元構成表と単元についての表の例】

単元構成表		【領域 ゲーム】		【単元 ミニサッカー】	
<b>動いて気づくできていこう</b>					
時数	1	2	3	4(本時)	5, 6, 7
主な活動	ボールを手以外であつかい、ミニサッカーをする			作戦をくふうしてミニサッカーをする	
ねらい	ねらい ボールを手以外でコントロールしながら、ゴールをめざし、点を取られないように工夫してゲームができる。				
1. 集合整列・あいさつ・確認					
2. 基礎感覚・基本技能を養う運動					
	対面ドリパス 8の字ドリ	8の字ドリ	対面ドリパス	1対1サッカー野球	
3. 主となる運動を課題をもって解決するための学習方法と場の設定					
学習活動	○通り抜けゲーム ・相手のすきをついて進もう	○1対1サッカー野球 ○バスゴールゲーム ・ルールをしろ ・試合をやってみよう	○1対1サッカー野球 バスゴールゲームをうまく進め、得点をあげよう ○バスゴールゲーム うまくいっているチームを見て動きのポイントを学ぶ ・ボールをしっかりとりめたりけたりする ・いつドリブルかなパスかな ・相手がいないところでボールをもらいたいな ・相手のボールをとるいいな	チームで作戦をたて、ゲームに勝とう ○作戦を考えたゲームを行う ・チームで作戦を考え話し合う時間をとる	
			もつと記録をあげるために必要なことは何だろうか？		
個人の振り返り ○できるようになったこと(やったと思ったこと) ○できるようになるために工夫したこと(わかったこと) ○できるようになるために使った言葉					
4. 学習全体の振り返りと評価					
関心・意欲・態度	①ふりかえり	①ふりかえり	②観察	②観察	
思考・判断			④ふりかえり	④ふりかえり	③ノート ③ノート
技能(知識・理解)		⑤ふりかえり			⑤ふりかえり・観察 ⑤ふりかえり・観察
領域【ゲーム】 単元【ミニサッカー】 身に付けさせたい力と基礎感覚・基本技能を養う運動					
<b>身に付けさせたい力</b> ドリブルしながらゴールをめざす シュートをねらったり、入れたりする パスを出したり、受けたりする チャンスをつくるために相手のいないところに動く 相手の攻撃を防ぐ					
基礎感覚や基本技能を養う運動(できそうな気がする素地を養う運動)					
<b>単元を通して継続的に行う運動</b>					
対面ドリパス 8の字ドリブル 通り抜けゲーム 1対1サッカー野球					
<b>スモールステップの運動</b>					
対面パス 8の字ドリブル 通り抜けゲーム 1対1サッカー野球					